

南小便り

平成 29 年 6 月 21 日

田植え体験が、絶好のお天気の中開かれました。6年生の上手なこと。植える位置を示すロープの移動が追いつかないほどです。そのロープですが、植える場所がすぐ分かるようにとそろばんの玉のようなものをくくりつけたものを作ってくださいっていました。それ以外にもいろんな準備、当日の指導でお世話になりました。地域の皆さまありがとうございました。



32 回目を迎える**ふるさと体験学習**が、先日の学校オープンの中で開催されました。わたしが見たり、指導者の方々からお伝えいただいたり、お客様から教えていただいたりして、たくさんのうれしい光景に触れることができました。

低学年の体験コーナーは短い時間で移動していきますので、1年生の中には思うように遊べていない子がいました。そこを助けてくれたのは2年生や3年生の子どもたちだったようです。

お家の方も熱心に参加してくださいました。子ども以上に熱心に質問され、製作に励まれたお父さん、お母さんもいらっしゃったようです。その姿を見ながら、子どもたちはものづくりや昔の遊びを大いに楽しんだようです。

お手玉作りでは体験活動が終わった後、お母さんが家でも作ろうと思って色の組み合わせを考えながら端切れをもらって帰られたようです。ご家庭でも、親子の、いや三世代のお手玉作りが和気あいあいと進められるのでしょうか。

折り紙のかご作りでは、ある子が家のおじいさんのために作ってあげようとして、おじいさん用の色の組み合わせを一生懸命考えて作ったようです。

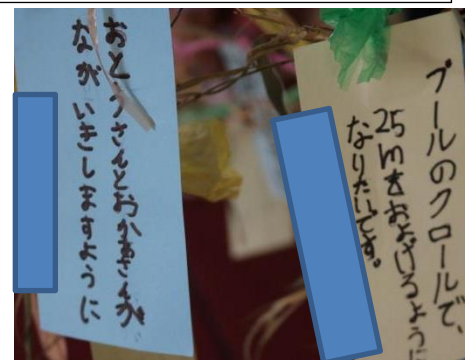


心肺蘇生法講習会。たくさんのご参加！熱心な受講！！ありがとうございました。山本さんの本職の指導もとっても分かりやすかったです。



読書月間もいよいよ後半。朝会では課題図書を紹介もされました。早くも月間目標を達成している子がたくさんいました。お手本を読み聞かせながら、読書感想文の書き方の指導もありました。

竹馬づくりでは、発表の段取りを練習する時間がありませんでした。乗ることができる子はいいのですが、乗ることができない子はどうしたもんだと考えていると、6年生が、「わたしが持って歩くのを手伝ってあげる。」とってくれました。支え合っの発表になりました。



昇降口の**七夕の短冊**。こんなかわいお願いごとが書いてありました。

あるお客様がおっしゃいました。「子どもたちが楽しそうなのは分かるんですが、教えていらっしゃる地域の方の表情がとても楽しそうなのに驚きました」。これからも、そんなふるさと体験学習を続けたいと思います。「また、来年！」と、お帰りのときの指導者の方の元気な声が耳に心地よく残っています。



ふるさと体験学習。子どもたちも、保護者の皆さんも、地域の指導者の方々も、みんないい顔でした。